

令和 6 年 度
編 入 学
第 2 次 学 生 募 集 要 項

日 程 等

項 目	月 日
出 願 期 間	令和 5 年 9 月 7 日（木）～ 9 月 14 日（木）（必着）
試 験 日	令和 5 年 9 月 25 日（月）
合 格 発 表	令和 5 年 10 月 17 日（火）
入 学 手 続	令和 5 年 10 月 23 日（月）～ 10 月 27 日（金）（必着）

秋田大学理工学部

〒010-8502 秋田市手形学園町 1 番 1 号

入学志願者の個人情報保護について

本学では、提出された出願書類から志願者の個人情報を取得し、また、入学試験の実施により受験者の個人情報を取得しますが、これらの個人情報は、下記の目的で利用します。

【利用目的】

- 入学者選抜に関する業務（統計処理などの付随する業務を含む。）に利用します。
- 入学手続完了者にあつては、入学後の学籍管理、学習指導、学生支援関係業務および授業料徴収業務に利用します。

目 次

1. 募集コースおよび募集人員	1
2. 出 願 資 格	1
3. 出 願 手 続	2
4. 選 抜 方 法	4
5. 受 験 上 の 注 意 事 項	4
6. 配慮を必要とする入学志願者の事前相談について	4
7. 合 格 者 の 発 表	5
8. 入 学 手 続	5
 秋田大学理工学部コース案内	 6
1. 募集するコースの構成	6
2. 学部および募集するコースのアドミッション・ポリシー	7
3. 課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	9
 添付書類等	
1. 編入学志願票（第2次募集用）	
2. 受験票・写真票（第2次募集用）	
3. 検定料振替払込受付証明書貼付台紙・払込取扱票	
4. 調査書	
5. 受験上および修学上の配慮を必要とする入学志願者の事前相談書	
6. 宛名票	
7. 受験票等返信用封筒	
8. 出願用封筒	

1. 募集コースおよび募集人員ならびに対応学科

学 科	コ ー ス	募集人員	対応学科
物 質 科 学 科	応 用 化 学 コ ー ス	若干名	物質工学科，材料工学科，工業化学科，化学工学科およびこれらの関連学科
	材料理工学コース		材料関連学科
数理・電気電子情報学科	数 理 科 学 コ ー ス	若干名	理工系学科，または数理科学の応用を行う学科(理系文系は問わない)
	電気電子工学コース		電気工学科，電子工学科，電子制御工学科およびこれらの関連学科
	人間情報工学コース		情報工学科および関連学科
システムデザイン工 学 科	機 械 工 学 コ ー ス	若干名	機械工学科および関連学科
	土木環境工学コース		土木工学科および関連学科

合格者の編入学年次は，本学3年次となります。

- 注) 1. 材料理工学コース志願者，数理科学コース志願者は，令和5年8月31日(木) までに
願前に必ず入試課へ問い合わせてください。
 2. 材料理工学コース，数理科学コース以外のコースで関連学科と判断し難い場合には，令和5年8月31日(木) までに願前に入試課へ問い合わせてください。
 3. 「2. 出願資格」の(5) (6) (7)については，志願コースの関連学科であることを判断する必要がありますので，令和5年8月31日(木) までに入試課へ問い合わせてください。
 4. 出身学校において修得した単位の全部，または一部を各コースに設定された授業科目とみなし，卒業要件の単位として認定しますが，認定される単位数によっては2年間で卒業できない場合があります。

2. 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者。

- (1) 高等専門学校を卒業した者および令和6年3月卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者および令和6年3月卒業見込みの者
- (3) 大学を卒業した者および令和6年3月卒業見込みの者
- (4) 大学に2年以上在学し，64単位以上を修得した者および令和6年3月修得見込みの者（令和6年3月末に2年以上在学となる者を含む）
- (5) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上で，かつ，課程の修了に必要な総授業時数が1,700時間以上である者）を修了した者および令和6年3月修了見込みの者（いずれも学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る）
- (6) 高等学校の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすもの）を修了した者および令和6年3月修了見込みの者（いずれも学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る）
- (7) 外国において，学校教育における14年の課程を修了した者および令和6年3月修了見込みの者

3. 出 願 手 続

(1) 出願書類等

書 類 等	摘 要
①編入学志願票	・ 本学部所定の志願票に下記により記入してください。 ・ 受 験 番 号：記入しないでください。 ・ 氏名(ふりがな)：楷書で記入し，ふりがなを付けてください。 ・ 生年月日等：生年月日を記入し，男・女いずれかを○で囲んでください。 ・ 出 願 資 格：出願資格を記入してください。 ・ 志望コース：志望するコースを記入してください。 ・ 本人が諸通知を受ける場所 ：合格通知書等を受ける場所を記入してください。 ・ 上記以外の連絡先：保護者等の住所を記入してください。 ・ 履 歴 (学 歴)：高等学校・高等専門学校入学以降について記入してください。 (職 歴)：職歴がある場合は記入してください。
②受験票・写真票	本学部所定の用紙に氏名，志望コースを記入し，写真（正面，上半身，脱帽で出願前3か月以内に撮影したもの）を貼ってください。
③検 定 料 ・ 検定料振替払込受付 証明書貼付台紙	検定料は30,000円です。 本学所定の払込取扱票に志願者本人の氏名その他必要事項を記入し，原則として令和5年8月24日(木)以降出願前までにゆうちょ銀行または郵便局の窓口で振り込んでください。 (振込手数料は負担願います。)※ATM(現金自動預け払い機)は使用しないでください。 振込の際に受領する「振替払込受付証明書」を台紙にししっかりと貼ってください。台紙には，氏名，志望コースを記入してください。 出願手続完了後は，いかなる理由があっても既納の検定料は返還しません。 ただし，検定料の振込後に出願しなかった場合は，検定料を返還しますので，原則として令和5年9月15日(金)から9月21日(木)までの間に，経理・調達課出納担当(Tel018-889-2234)に申し出てください。
④TOEIC® Listening& Reading TestのOfficial Score Certificate (公式認定証) または TOEIC® Listening& Reading IPテストのスコアレポート(個人成績表)の原本	テスト実施日が，2021年(令和3年)4月1日以降であるもの。 出願期間までに提出が間に合わない場合は入試課へ問い合わせてください。 受理した書類は，返還しません。また，願書提出後のスコアの追加は認めません。
⑤調 査 書	本学部所定の用紙により，在学学(校)長が作成し厳封したもの。 出願資格(4)該当者で履修中の科目がある場合は，履修中の科目に関する証明書を添付してください。 「成績」および「席次」の欄については，前学年(既卒者の場合は最終学年)における「成績」(例：優，良，可)およびクラス等での「席次」(何人中何位)を記入してください。もし「成績」および「席次」を算出していない場合は，その理由を記入してください。
⑥卒業(見込)証明書	出願資格(1)(2)(3)(5)(6)(7) 該当者 出願資格(5)該当者は専修学校入学前の学校の卒業証明書を提出してください。
⑦在学(期間)証明書	出願資格(4)該当者 なお，在学証明書には入学年月日を記入してください。

書 類 等	摘 要
⑧専門士取得(見込)証明書 または修了(見込)証明書	出願資格(5)該当者 なお、修了(見込)証明書提出者は、出願資格の専修学校 専門課程であることの証明書を添付してください。
⑨高等学校等専攻科修了 (見込)証明書	出願資格(6)該当者 修了または修了見込みの高等学校等が発行する、修業年限 2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満 たしていることの証明書を添付してください。
⑩宛 名 票	本学部所定の用紙に所要事項を記入してください。
⑪受験票等返信用封筒	本学部所定の封筒に、受信場所(住所、氏名、郵便番号)を 明記し、 344円分の切手を必ず貼り付けてください。
⑫在留資格が明記された 住民票	外国人で現に日本国内に在留している者は、市区町村長が 発行する「在留資格が明記された住民票」を提出してください。

【参考資料】高等学校専攻科修了(見込)証明書作成例

高等学校専攻科修了証明書 秋田大学長 殿 本校は、学校教育法第58条の2に規定する高等学校の専攻科であり、下記の者は平成28年文部科学省告示第63号の基準を満たす課程を修了し、大学への編入学資格を有することを証明する。 記 氏名 生年月日 〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇〇〇高等学校専攻科 学校長 〇〇 〇〇	
---	--

(2) 出願方法等

1) 出願書類等受付期間

令和5年9月7日(木)～9月14日(木)16時まで(必着)

2) 出願方法

出願書類等は一括し、本要項に添付の出願用封筒に入れて、原則として郵送により提出してください。

3) 出願書類等提出先および入試に関する照会先

秋田大学入試課

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

電話 018-889-2313 E-mail: nyushi@jimu.akita-u.ac.jp

4) 出願にあたっての留意事項

- ① 出願書類に不備がある場合は、これを受理しません。
- ② 受理した出願書類等の返還および記載事項の変更は認めません。

4. 選 抜 方 法

調査書、TOEIC®のスコアおよび面接試問の結果を総合して判定します。

(1) 試験日時

日 時 令和5年9月25日(月) 13時30分～(集合時間 13時00分)

(2) 面接試問の内容

学 科	コ ー ス	面接試問の内容
物 質 科 学 科	応用化学コース	数学および履修した専門教育科目の基礎の試問を含む
	材料理工学コース	数学および材料理工学専門の試問を含む
数 理 ・ 電 気 電 子 情 報 学 科	数理科学コース	数学および数理科学専門の試問を含む
	電気電子工学コース	数学および電気電子工学の専門教育科目の基礎の試問を含む
	人間情報工学コース	数学および人間情報工学専門の試問を含む
シ ス テ ム デ ザ イ 工 学 科	機械工学コース	数学および機械工学の専門教育科目の基礎の試問を含む
	土木環境工学コース	数学および土木環境工学の専門教育科目の基礎の試問を含む

(3) 試験場

秋田大学理工学部 (秋田市手形学園町1番1号)

(4) 受験票の持参・提示

試験当日は、受験票を忘れずに持参し、試験時間中は机の上に置いてください。

受験票が9月21日(木)まで届いていない場合、入試課へ速やかに連絡してください。

5. 受験上の注意事項

(1) 受験者は、試験当日の13時00分までに指定された集合場所に集合してください。

(2) 遅刻限度は、試験開始後10分までです。

(3) 試験室ではすべて試験監督者の指示に従ってください。

6. 配慮を必要とする入学志願者の事前相談について

病気・負傷、身体障害および発達障害等の心身の機能の障害（以下、「障害等」という。）により、受験上および修学上の配慮を必要とする可能性のある入学志願者は、出願に先立ち、本学部所定の用紙に必要事項を記入の上、医師の診断書等を添えて、令和5年8月31日(木)までに入試課に相談してください。日常生活においてごく普通に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合や期限後に不慮の事故等により、受験上の配慮が必要となった場合には、速やかに相談してください。

また、障害等の程度によっては、事前の準備が必要となる場合がありますので、本学への出願を迷っている場合でもあらかじめ相談いただき、進路決定等により特別措置が不要となった場合

には、その旨を入試課までお知らせください。

なお、事前相談の内容等が合否判定のための資料になることはありません。

○相談先 秋田大学入試課

電話：018-889-2313 E-mail：nyushi@jimu.akita-u.ac.jp

7. 合格者の発表

令和5年10月17日(火) 15時(予定) 秋田大学ホームページ内「入試情報」に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書および入学手続書類を送付します。

注) 電話等による照会には一切応じません。

8. 入 学 手 続

合格者には入学手続書類を郵送しますので、下記の入学手続期間に入学料を納付するとともに、入学手続書類を郵送により提出してください。

なお、入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は入学を辞退したものとして取り扱います。

(1) 入学手続期間

令和5年10月23日(月)～10月27日(金)(必着)

(2) 納付金

①入学料 282,000円(予定額)

②授業料 前期分 267,900円(年額 535,800円)(予定額)

注) 1. 上記納付金は予定額であり、入学時または在学中に改定された場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

2. 授業料は、入学後の4月中に納入していただきます。

3. 納付した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

(3) その他

① 経済的理由により入学料の納付が困難でかつ学業優秀な者、または特別な事情がある者には、選考の上、全額または半額の免除または徴収猶予が認められる制度があります。詳細は入学手続書類送付時にお知らせします。

② 経済的理由により授業料の納付が困難でかつ学業優秀な者、または特別な事情がある者には、選考の上、全額、半額、3分の1の免除または徴収猶予が認められる制度があります。詳細は入学手続書類送付時にお知らせします。

③ 編入学を許可された者には、入学後に編入年次までに修得すべき単位を認定します。詳細は入学関係書類送付時に案内します。

④ 令和6年3月末までに所定の要件を満たす見込みで受験した合格者が、所定の要件を満たすことができなかった場合は、入学を許可しません。

⑤ 出願書類に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

⑥ 入学手続以外の入学関係書類は、令和6年1月下旬(予定)に送付します。

秋田大学理工学部コース案内

1. 募集するコースの構成

学 科	コ ー ス
物 質 科 学 科	応 用 化 学 コ ー ス
	材 料 理 工 学 コ ー ス
数 理 ・ 電 気 電 子 情 報 学 科	数 理 科 学 コ ー ス
	電 気 電 子 工 学 コ ー ス
	人 間 情 報 工 学 コ ー ス
シ ス テ ム デ ザ イ ン 工 学 科	機 械 工 学 コ ー ス
	土 木 環 境 工 学 コ ー ス

2. 学部および募集するコースのアドミッション・ポリシー

【理工学部】

◆育てる人間像

理工学の分野においては、人材育成と研究開発の「リージョナルセンター」として、創造力と技術力を兼ね備えた人材を供給するとともに、イノベーション創出により地域産業に更なる発展をもたらすことが期待されています。理工学部では、自ら課題を発見でき、新しい未知の分野の課題に対しても幅広い視野から、柔軟で総合的な判断で課題を解決していける人材を育成します。

●求める人物像

- ① 理工学を学ぶために必要な基礎学力を身につけた人
- ② エネルギー・環境問題、新しいものづくりと物質・デバイス創成、また少子高齢化や自然災害対策などの大きな社会的課題に関心を持ち、積極的に自己学習できる人
- ③ 研究者や技術者として世界や地域の発展に貢献する意欲を持つ人

応用化学コース

●求める人物像

- ① 化学が好きで、探究心が旺盛な人
- ② 化学的現象の解明や自然と調和した未来物質の開発に興味のある人
- ③ 国際的に活躍する化学技術者・研究者を目指す強い意欲のある人

●入学選抜の基本方針

《3年次編入学（第2次学生募集）》

理工科系の高等専門学校・短期大学・大学・専修学校の専門課程・高等学校の専攻科の課程を卒業・修了した人またはその見込みの人、大学の理工系学部で2年以上在学し必要な単位を修得した人またはその見込みの人、または外国において学校教育における14年の課程を修了した人またはその見込みの人で、理学や工学の関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲的な人を求めます。

そのため、学力検査（TOEIC® のスコア）および面接（数学および履修した専門教育科目の基礎の試問を含む）により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

材料理工学コース

●求める人物像

- ① 物理や化学が好きで、探求心が旺盛な人
- ② 金属、半導体、セラミックスを利用した、機械・構造材料、磁性材料、電子・光学材料、センサー材料、環境・新エネルギー材料に興味がある人
- ③ 発展する科学技術の基礎となる様々な材料の研究と開発を行う技術者や研究者を目指す人

●入学選抜の基本方針

《3年次編入学（第2次学生募集）》

理工科系の高等専門学校・短期大学・大学・専修学校の専門課程・高等学校の専攻科の課程を卒業・修了した人またはその見込みの人、大学の理工系学部で2年以上在学し必要な単位を修得した人またはその見込みの人、または外国において学校教育における14年の課程を修了した人またはその見込みの人で、理学や工学の関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲的な人を求めます。

そのため、学力検査（TOEIC® のスコア）および面接（数学および材料理工学専門の試問

を含む)により「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」,「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し,選抜します。なお,提出書類を面接の参考資料とします。

数理科学コース

●求める人物像

- ① 数学,物理学,計算機科学に興味を持ち深く学んでみたい人
- ② 論理的かつ客観的な視点で粘り強く考えることが好きな人
- ③ 自然の原理や仕組みについて考えたり話したりすることを楽しく感じる人

●入学者選抜の基本方針

《3年次編入学(第2次学生募集)》

理工科系または数理科学の応用系の高等専門学校・短期大学・大学・専修学校の専門課程・高等学校の専攻科の課程を卒業・修了した人またはその見込みの人,大学の理工系学部または数理科学の応用を行う学部学科等に2年以上在学し必要な単位を修得した人またはその見込みの人,または外国において学校教育における14年の課程を修了した人またはその見込みの人で,数理科学の関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲的な人を求めます。

そのため,学力検査(TOEIC®のスコア)および面接(数学および数理科学専門の試問を含む)により「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」,「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し,選抜します。なお,提出書類を面接の参考資料とします。

電気電子工学コース

●求める人物像

- ① 数学や物理が好きで,ものやシステムの原理や仕組みを論理的に思考・理解しようとする人
- ② 環境に調和した電気エネルギー,創意や工夫にあふれる光・電子デバイス,人にやさしく知的な情報通信や医療機器,社会の基盤を支えるコンピュータや制御システムなどに興味のある人
- ③ 創造性を発揮して国際的に活躍する最先端のエレクトロニクス技術者や研究者を目指す意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

《3年次編入学(第2次学生募集)》

理工科系の高等専門学校・短期大学・大学・専修学校の専門課程・高等学校の専攻科の課程を卒業・修了した人またはその見込みの人,大学の理工系学部等に2年以上在学し必要な単位を修得した人またはその見込みの人,または外国において学校教育における14年の課程を修了した人またはその見込みの人で,理学や工学の関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲的な人を求めます。

そのため,学力検査(TOEIC®のスコア)および面接(数学および電気電子工学の専門教育科目の基礎の試問を含む)により「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」,「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し,選抜します。なお,提出書類を面接の参考資料とします。

人間情報工学コース

●求める人物像

- ① 感性が豊かで,論理的思考に習熟し,対象を広く,また深く理解しようとする人
- ② ヒトとコンピュータとの調和に配慮した高度な情報通信技術(ICT)に興味がある人
- ③ 日進月歩の高度情報化社会に貢献する技術者や研究者を目指す,意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

《3年次編入学（第2次学生募集）》

理工科系の高等専門学校・短期大学・大学・専修学校の専門課程・高等学校の専攻科の課程を卒業・修了した人またはその見込みの人、大学の理工系学部で2年以上在学し必要な単位を修得した人またはその見込みの人、または外国において学校教育における14年の課程を修了した人またはその見込みの人で、理学や工学の関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲的な人を求めます。

そのため、学力検査（TOEIC[®] のスコア）および面接（数学および人間情報工学専門の試問を含む）により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

機械工学コース

●求める人物像

- ① 数学や物理が好きで学習意欲があり、工学の基礎学力を高めたい人
- ② 設計、力学、制御を学び、ものづくりによりエンジニアの素養を得たい人
- ③ 持続的社会形成の必要性を理解し、創造的な機械開発にチャレンジしたい人

●入学者選抜の基本方針

《3年次編入学（第2次学生募集）》

理工科系の高等専門学校・短期大学・大学・専修学校の専門課程・高等学校の専攻科の課程を卒業・修了した人またはその見込みの人、大学の理工系学部で2年以上在学し必要な単位を修得した人またはその見込みの人、または外国において学校教育における14年の課程を修了した人またはその見込みの人で、理学や工学の関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲的な人を求めます。

そのため、学力検査（TOEIC[®] のスコア）および面接（数学および機械工学の専門教育科目の基礎の試問を含む）により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

土木環境工学コース

●求める人物像

- ① 数学や物理などの自然科学の知識を社会基盤の整備と発展に活かしたい人
- ② すべての人が安心して生活できる社会基盤をつくるには、どうすればよいのかに興味がある人
- ③ 自然環境と人間環境が調和した社会基盤の整備と発展に役立ちたい人

●入学者選抜の基本方針

《3年次編入学（第2次学生募集）》

理工科系の高等専門学校・短期大学・大学・専修学校の専門課程・高等学校の専攻科の課程を卒業・修了した人またはその見込みの人、大学の理工系学部で2年以上在学し必要な単位を修得した人またはその見込みの人、または外国において学校教育における14年の課程を修了した人またはその見込みの人で、理学や工学の関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲的な人を求めます。

そのため、学力検査（TOEIC[®] のスコア）および面接（数学および土木環境工学の専門教育科目の基礎の試問を含む）により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

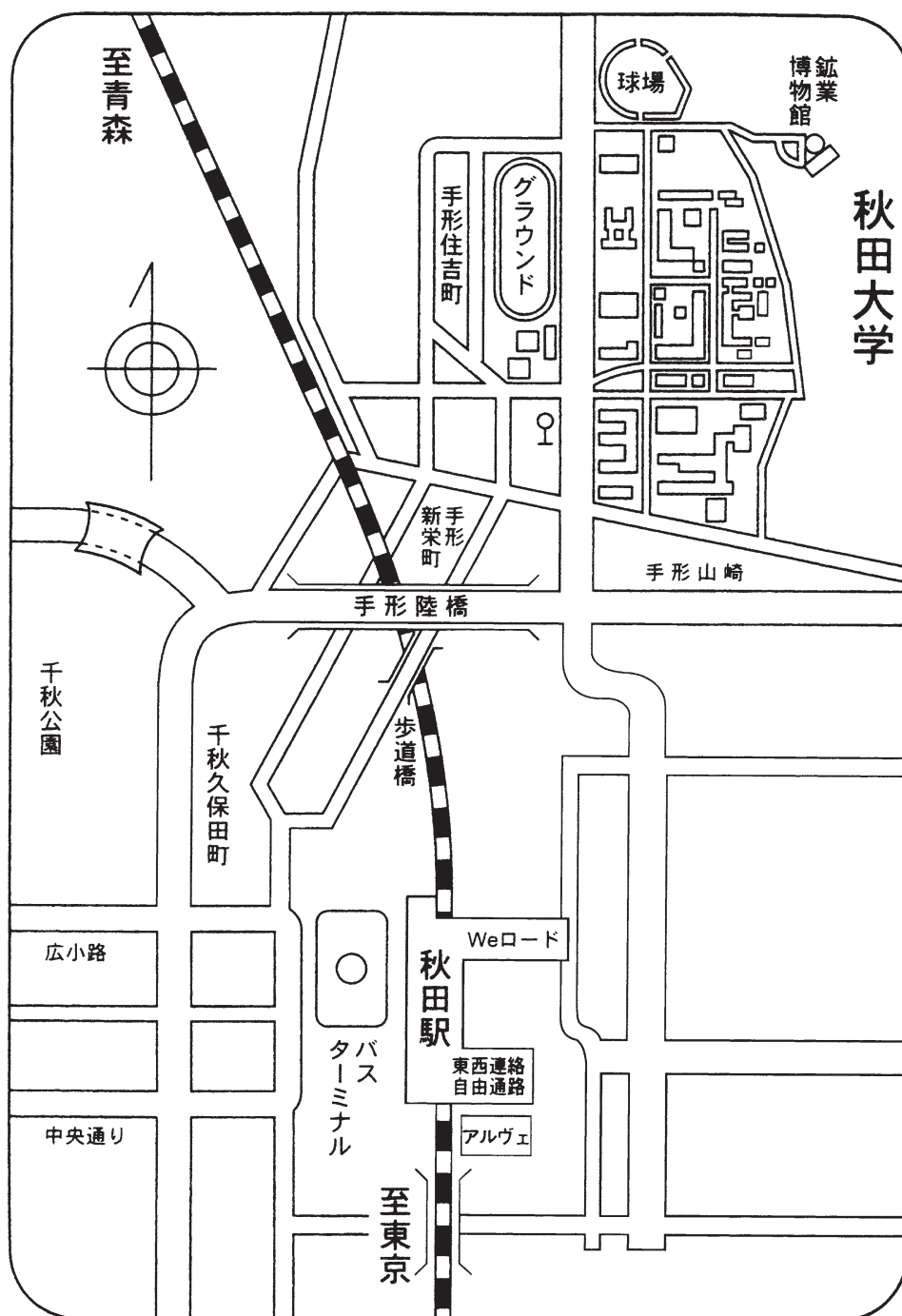
3. 課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

理工学部では、ディプロマ・ポリシーを達成するため、次のような方針に基づいて教育課程を構成します。

教育課程編成方針

1. 数学や理科などの理工学基礎を確実に理解させる教育を行います。
2. 応用力や創造性を重視した専門教育を行います。
3. 社会における科学技術の役割、技術者の責任と倫理を理解させる教育を行います。
4. 国際性を培う専門教育を行います。
5. 地域の自然、社会、産業、文化に関する知識の理解を深める教育を行います。
6. デザイン能力とプロポーザル能力を養成するカリキュラムを構成します。
7. アクティブラーニングやグループワークを通じて、周りの人々と協働して学生が主体的に課題を解決することができる機会を提供します。
8. 情報通信技術（ICT）を用いた情報活用能力を養成するカリキュラムを構成します。
9. 職業意識を高める実践的なキャリア教育を行います。
10. 教育に関する情報の恒常的な把握に努め、カリキュラムを定期的に点検・評価・改善することで、自律的に教育の質を保証します。

秋田大学理工学部 案内図



●秋田駅前（西口）バスのりば12番から
秋田中央交通バス手形山大学病院線
秋田大学前下車・徒歩約1分

●秋田駅東口から秋田大学まで
徒歩約15分（約1,300m）